

## 「日本人は冷たいですか？」

ミルコ・パンヌンツイオ

皆さん、イタリアというと何を思い浮かべますか。イタリア料理？ファッション？イタリアは日本人が行きたい国の中でも常にベスト3に入るそうです。そんなイタリアから来た私ですが、実は来日当初、驚いたことがありました。よく言われる文化の違いです。

いまは日本語も来日当初より上達し、1年間日本に住んで見えてきたことがあります。それは人間関係の作り方の違いです。ヨーロッパ人の日本人に対するイメージは「あっさりしている」あるいは「冷たい」というものです。ですが、日本人は本当に冷たいのでしょうか。なぜ人と繋がる時に遠慮するのでしょうか。私には他の人と話す時、日本人は自信が無いように見えます。イタリア人の場合、話す時に遠慮したりしたら、恐らく反対に失礼だと思われそうです。つまり、イタリア人と日本人では会話のアプローチの仕方が反対なのです。イタリア人は知らない人とでも気軽に話します。例えば電車です。日本では電車内で話すのが禁止かのように、お互いの存在を無視して、静かにしています。

では、イタリア人はどうでしょうか？私たちは知らない人とでも話します。ルールかのように皆がしゃべるので、電車内はまるでパーティのようになります。これだけで、イタリアと日本の人間関係の作り方が違うのが分かるでしょう。

違いは何でしょうか？日本人は冷たいですか？日本では聞き手を尊重するのが会話のポイントになっていると思います。特に知らない人と話す時はプライベートなことを聞くのは失礼とされ、相手の気持ちを察する、いわゆる「察しの文化」があるからではないでしょうか。一年間以上日本に暮らした今は自信を持ってそう言えます。イタリア人と日本人ではどちらが相手のことを考えているのでしょうか？答えは日本人です。相手をたっとぶ精神、日本語の敬語がいい例です。敬語は日本語を勉強している私たちにとっては、複雑で容易ではありません。ですが、日本人は敬語を使い分けることで相手への気持ちを表現します。では逆に、イタリア人は？注目を自分に向けてほしいのです。注目が自分に向けば聞き手のことは気にせず、話し掛けやすくなり、遠慮もなくなります。ですから、日本人は「冷たい」のではなく、人間関係の作り方がイタリア人とは違うというだけです。

もう一つ、文化の違いを感じたことがあります。連絡です。特に、連絡の頻度です。イタリアでは両親や友達との連絡は当たり前です。25歳の私ですが、ママと毎日連絡をしています。これを見た日本人からはマザコンと言われます。イタリア人にとっては人間関係、特に家族は大切な存在なので連絡は大事です。イタリアでは連絡しないと相手のことを考えていないように受け取られます。もし、私がママからの「おはよう」メールに返事しなかったら、家族は私が死んだのかと大騒ぎになるでしょう。ですが、日本人はあまり連絡しません。日本では仕事以外の連絡はさほど重要ではないようです。特に家族と離れていても、イタリア人のよ

うには毎日連絡しないでしょう。でも、それで大騒ぎになることはありません。これは日本人の「冷たさ」でしょうか。

日本に住んで分かったこと。二つの国の違いは見た目だけです。私も最初は考え方の違いに驚きました。ですが、いろいろ経験し、日本人との距離も縮まりました。今、私には多くの日本人の友達がいる、日本の生活を楽しんでいます。イタリアの友達と日本の友達との繋がり方は違います。が、どちらも変だとは思いません。文化が違い、習慣が違い、関係が違い、その違いを発見するのが本当の面白みでしょう。

「日本人は冷たいですか？」皆さんも考えてみてください。